

中国はどうなっていくか？ 話題の書『幸福な監視国家・中国』の著者が語る

デジタル社会における「国家と社会」を考える

幸福な監視国家からの視点

講師 梶谷 懐 氏 (神戸大学大学院教授)



[講師から] 筆者が以前「幸福な監視国家」であると評価したパターナリズムと功利主義との結びつき、および2020年のコロナ禍における中国政府のデジタル情報を通じた防疫の取り組みは、「情報を通じた統治」が、現代における公共性の問題を考える上で重要な論点であることを示しました。本報告では、中国の現実を踏まえながら、デジタル社会における「国家と社会」の問題を問い直します。

[講師 プロフィール]

梶谷 懐 (かじたに かい) 1970年大阪府生まれ。神戸大学大学院経済学研究科教授。専門は現代中国经济。神戸大学大学院経済学研究科博士課程修了、2001年神戸大学博士(経済学)。博士課程在籍中に中国人民大学に留学(財政金融学院)。神戸学院大学経済学部准教授などを経て、現職。

著書に『「壁と卵」の現代中国論』(人文学院、2011年)、『現代中国の税制金融システム』(名古屋大学出版会、2011年、第29回大平正芳記念賞)、『日本と中国、「脱近代」の誘惑』(太田出版、2015年)、『日本と中国经济』(ちくま新書2016年)、『中国经济講義』(中公新書、2018年)、共著に『幸福な監視国家・中国』(NHK出版新書、2019年)、『所有とは何か』(中公選書、2023年)。

■ 2024年 10月 14日 (月・祝)

14:00~16:30 開場13:30

■ 大阪国労会館 3階大会議室

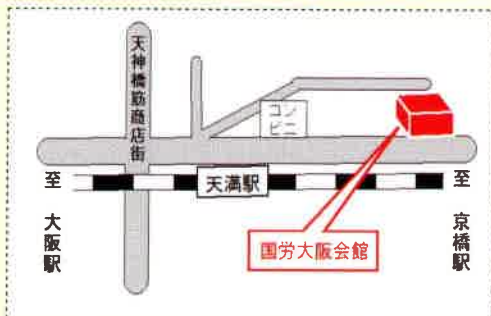
■ 参加費 1000円

J R 天満駅
下車、京橋
方面へ180m
下図参照



上の写真は、梶谷先生が2019年に上梓された『幸福な監視国家・中国』(NHK出版新書)の表紙です。

会場地図



主催・問合せ先：日中友好協会大阪府連合会 06-6372-8131 info@jcfaosaka.org